

仕様書

1 業務名

第 49 回技能五輪国際大会（日本・愛知大会）に参加するワークショップ・セクター・マネジャー及びワークショップ・マネジャー付通訳等の令和 8 年度手配に係る業務

2 業務内容

受託事業者は、2028 年 11 月に日本・愛知で開催される第 49 回技能五輪国際大会（以下「国際大会」という。）のワークショップ・セクター・マネジャー（以下「WSM」という。）及びワークショップ・マネジャー（以下「WM」という。）付通訳の令和 8 年度に係る手配、管理の業務を行う。

なお、2028 年 11 月の国際大会までの全体業務概要については、別添 1 を参照すること。

(1) 職種及び人数

対象職種（63 職種）及びセクター（6 セクター）は、以下のとおり。各職種に 1 名ずつ WM 付通訳を、4 セクターに 1 名ずつ、2 セクターに 2 名ずつ WSM 付通訳を配置する。

なお、48 回技能五輪国際大会（以下「上海大会」という。）期間中、急病などにより業務執行が困難になった場合に備え、バックアップ通訳 3 名を配置する。バックアップ通訳は技術部職員の通訳も兼ねることとする。

また、2026 年 8 月頃に愛知で開催される国際大会での新規職種が公表される見込みとなっている。新規職種の上限が 3 職種となっているため、職種競技マネジャー（以下「SCM」という。）と WM 等が Web 会議形式等で行う打合せでの通訳については、66 職種を想定する。

【WM】

01 Industrial Mechanics	産業機械
02 ICT Network Infrastructure	ICT ネットワーク施工
03 Intelligent Security Technology	インテリジェントセキュリティ技術
04 Mechatronics	メカトロニクス
05 Mechanical Engineering CAD	機械工学 CAD
06 CNC Turning	CNC 旋盤
07 CNC Milling	CNC フライス盤
08 Mobile Applications Development	モバイルアプリケーション開発
09 Software Applications Development	ソフトウェアアプリケーション開発
10 Welding	溶接
11 Software Testing	ソフトウェアテスト
12 Wall and Floor Tiling	タイル張り
13 Auto body Repair	自動車板金
14 Aircraft Maintenance	航空機整備
15 Plumbing and Heating	配管・暖房
16 Electronics	エレクトロニクス
17 Web Technologies	ウェブ技術

18 Electrical Installations	電工
19 Industrial Control	産業用制御システム
20 Bricklaying	れんが積み
21 Plastering and Drywall Systems	左官
22 Painting and Decorating	ペイント・装飾
23 Autonomous Mobile Robotics	自律移動ロボット
24 Cabinetmaking	家具
25 Joinery	建具
26 Carpentry	建築大工
27 Jewelry	ジュエリー
28 Floristry	フラワー装飾
29 Hairdressing	美容・理容
30 Beauty Therapy	ビューティーセラピー
31 Fashion Technology	洋裁
32 Pâtisserie and Confectionery	洋菓子製造
33 Automobile Technology	自動車工
34 Cooking	クッキング
35 Restaurant Service	レストランサービス
36 Car Painting	車体塗装
37 Landscape Gardening	造園
38 Refrigeration and Air Conditioning	冷凍空調
39 IT Network System Administration	IT ネットワークシステム管理
40 Graphic Design Technology	グラフィックデザイン
41 Health and Social Care	ヘルス&ソーシャルケア
42 Dental Prosthetics	歯科補綴
43 Retail Sales	小売販売
44 Visual Merchandising	ビジュアルマーチャンダイジング
45 Digital Interactive Media Design	デジタル・インタラクティブ・メディア・デザイン
46 Concrete Construction Work	コンクリート躯体工事
47 Bakery	パン製造
48 Industry 4.0	インダストリー4.0
49 Heavy Vehicle Technology	重機整備技術
50 3D Digital Game Art	3D デジタルゲームアート
52 Chemical Laboratory Technology	化学実験技術
53 Cloud Computing	クラウドコンピューティング
54 Cyber Security	サイバーセキュリティ
55 Water Technology	水技術
56 Hotel Reception	ホテルレセプション
57 Additive Manufacturing	付加製造
58 Digital Construction	デジタルコンストラクション
59 Industrial Design Technology	工業デザイン技術

60 Optoelectronic Technology	光電子技術
61 Rail Vehicle Technology	鉄道車両技術
62 Renewable Energy	再生可能エネルギー
63 Robot System Integration	ロボットシステムインテグレーション
64 Unmanned Aerial Systems	無人航空機システム

※1 数字：WSI 職種番号

※2 「51 Logistics and Freight Forwarding 物流貨物輸送」は、上海大会後廃止のため WM は派遣しない。

【WSM】

Construction and Building Technology	建造および建築技術
Creative Arts and Fashion	クリエイティブ・アーツとファッション
Information and Communication Technology	情報および通信技術
Manufacturing and Engineering Technology	製造および工学技術
Social and Personal Services	ソーシャルサービスとパーソナルサービス
Transportation and Logistics	輸送と物流

※建造および建築技術、製造および工学技術の2セクターについてはWSMを2名ずつ配置する。

(2) 対象業務

ア 上海大会

技術オブザーバー（以下「TO」という。）として上海大会の視察を行う WM 等の通訳を行う。

(ア) 時期、期間

2026年9月、15日間程度

(イ) 場所

中国・上海

イ Web 会議

SCM と WM 等が Web 会議形式で行う打合せでの通訳を行う。

(ア) 時期、回数

2026年10月-2027年3月、4回程度

（自宅からの参加2回、WM 指定場所2回）

(イ) 場所

WM 等が指定する場所（自宅からの Web 参加含む）

(3) 通訳の要件等

ア ウィスパリング通訳や逐語通訳を駆使し、WM 等が求める情報を、正しい内容で、英語通訳できること。

イ 国際大会等という状況から、大きなノイズが発生したり、予期しない事態が起ったりする場合もあるが、臨機応変に対応できる者とする事。

ウ 原則として、年齢は2028年11月時点で、65歳以下とする。ただし、下記エの要件を満たす場合には、この限りではない。

エ 早朝から深夜に及ぶ、2～3週間にわたる連続した業務にも対応できる十分な体力を備えていること。

オ 日本を代表し、国際大会の運営に携わる WM 等を支援しているという、責任感と熱意を持って業務にあたる事ができる者とする事。

カ (2) の通訳業務のいずれにも対応できること。原則として、同じ職種を担当す

ることとする。

キ 現地での関係資料の翻訳業務に対応できる者として、翻訳内容を、資料に直接記入することや、パソコンでの入力ができる者であること。

ク 資料等を用いた事前の打ち合わせが必要なことから、日本国内在住の者であること。

ケ 航空便については、エコノミークラスになることを了解すること。航空機の座席等に関するリクエストは（一財）2028年技能五輪国際大会日本組織委員会（以下「組織委員会」という。）では受け付けない。

(4) 選考

別添2の履歴書を組織委員会に提出すること。組織委員会で書類選考を行い、不合格の場合には、代替の通訳を提案すること。

(5) 上海大会時の通訳業務等

ア 通訳の業務を行う場所

中国・上海

イ 業務コア時間

1日当たり8時間（原則9:00～17:00、休憩1時間を含む）

※上記コア時間帯に加え、平均3～4時間の業務がある。なお、深夜に及ぶ場合がある。

ウ 単価

業務コア時間の1日単価、業務コア時間帯外の時間単価、移動日の単価等を明記すること。

エ 経費について

日本の空港と現地までの航空機は組織委員会が手配する。

大会参加者として登録（登録料は組織委員会が負担）され、期間中の宿泊及び食事が提供される。別添1表中の「●」はパッケージに含まれる予定の食事となる。

上記以外に、大会期間中のホテルと競技会場の移動は上海大会組織委員会または、国際大会組織委員会が手配する。

国内移動に係る交通、宿泊については、通訳者が各自で手配すること。

大会登録料に含まれていない交通費（例：国内移動経費、現地での登録料に含まれない移動経費等）については、4（国内旅費等について）を参照すること。

オ その他

①当該業務の成果物として、TO（WM）の協力を得て、担当職種で使用した訳語の対訳（様式自由）を作成し、上海大会後に提出すること（WSM付通訳は不要）。国際大会通訳業務に有用な情報を「通訳業務引継書（別添3）」に記入し、提出すること。（WSM付通訳含む）

②職種ごとにスケジュールが異なることから業務日とされている日程において業務が発生しないことがあるが、競技会場等の指定の場所において提供される食事を取らない場合は、別途食事の提供はしない。

③海外旅行保険など、必要な保険は通訳会社で付保すること。

④国外における通訳料は不課税として算定すること。

⑤大会期間中は、WM等とメール、携帯電話及びコミュニケーションアプリ等を用いて常時連絡ができる状態を保持するように努めることを通訳者に徹底すること。なお、モバイルWi-Fiは、組織委員会が準備する。

カ 現地で通訳者の管理調整業務を行う者（通訳管理者）を2名配置することとする

る。

通訳管理者に関する詳細は、以下とおり。

①主な業務

通訳者のフォローや業務管理、クレームの対応等、通訳者が円滑に業務に遂行できるためサポートする業務。

②経費について

残業時間を見込んだ1日当たりの単価とすること。

③その他

a 通訳管理者は、携帯電話に加え、メール及びコミュニケーションアプリ等を用いて組織委員会事務局員と連絡がとれる体制を構築すること。原則として日中は、組織委員会が用意する事務局室にて待機すること。

なお、モバイル Wi-Fi は、組織委員会が準備する。

b 通訳管理者は、通訳者が円滑に行動できるよう、自ら積極的に提案、行動、対応できる者とする。また、日本の大会関係者としてふさわしい行動、マナー、言動等がとれる者とする。

キ 別添2の履歴書及び航空券手配や大会登録に必要な書類等（パスポート写し、顔写真等）を2026年5月29日（金）までに提出すること。

3 業務時間の扱いについて

- (1) 原則、移動日（日本の空港出発日から現地到着日、現地出発日から日本の空港到着日）以外は業務日扱いとする。大会参加時においては、公式行事（開閉会式、エキスカッション等）は特段の事情がない限りは参加することとし、必要に応じてWSM、WMの通訳サポート等を行うこと。業務が発生しない予定の日においても、9時～17時の間はオンコール状態としておくこと。
- (2) 国内移動において前泊・後泊が伴う際、それにより発生した拘束時間については、移動日単価は適用されない。
- (3) 通訳業務時間は分単位で記録・管理を行い、1時間単位で繰り上げ、積算・精算する。
- (4) バックアップ通訳は、競技準備中においては競技会場内へ入場が制限されることがあるため、ホテル待機等が多くあり得ることを承知の上で引き受けること。ただし、移動日及び業務日の扱いは（1）と同様とする。

4 旅費について

通訳の国内旅費については、旅費規程に基づき支給する。

組織委員会の旅費規程に基づく概要については、別添4を参照。

なお、海外において、パッケージ等に含まれる移動手段が利用できない状況が発生した場合は、組織委員会と協議の上、移動に要した実費を支払う。その場合、領収書や明細等必要な証票を提出すること。また、1週間以上の長期滞在が必要となる上海大会等については、スーツケース等を運搬するため必要であれば、組織委員会へ協議の上、リムジンバスの利用を可とする。

5 業務体制

担当者を複数配置する等、組織委員会及びWMからの依頼に対して迅速に対応できる業務体制を構築すること。

SCMとWM等がWeb会議形式等で行う打合せでの通訳については、原則として、その職種を担当する通訳を手配すること。当該通訳の都合が付かない場合には、代替の通訳を手配すること。

6 精算及び支払

四半期毎に請求書及び業務実施報告書等を組織委員会が指定する様式において提出すること。

7 経費見積

通訳、通訳管理者に係る経費については、単価を別表の様式により提出すること。

通訳の管理等に要する経費については通訳単価と別に積算すること。

別表は税別額を記載すること。

単価は、日当、食事代等各社の規定で通訳等に支払われる経費も含めて設定すること。

以上